

平成29年度 学校運営等に関する評価書

学校名	和歌山市立西浜中学校
作成日	平成30年(2018年) 2月26日

1 教育目標

『創造力に富んだ心豊かでたくましい生徒の育成』 『自ら学び、ともに生きる』
--

2 学校の自己評価についてのご意見

	地域とともにある学校	ゆたかな心	確かな学力
重点目標に対する意見	地域とともに歩もうとする目標を掲げて取り組んでいる	概ね適切であると考え	概ね適切であると考え

取組の状況に対する意見	積極的に取り組んでおり、地域との連携に努めている。 保護者や浜友会(卒業生)等の行事への参加は積極的に取り組み、大変喜ばしく、連携にも努めている。	各学年ごとに時節ごとに計画を立てて、意欲的に取り組んでいる。 生徒会活動や部活動にも率先して取り組むとともに各種の体験活動や市民性を育てる取組にも積極的である。	積極的に学習する姿勢が見られ、落ち着いた学習環境が保たれている。 学校での学習のなかにも共助の体制が出来ている。自ら問題解決学習にも取り組んでいる。
検証結果の適切さの意見	学校が主体的に改善点を洗い出すことで、さらなる向上に努める姿勢が見える。 浜友会(卒業生)との交流や近隣学校との交流も積極的に出来ている。	意欲的に改善していこうとする学校の姿勢がうかがえる。 生徒の心に響くような教育活動にも積極的に取り組んでいる。	細かく評価し、工夫改善に活かされている。 学校全体の学力を向上させるために取り組み、生徒個々の能力にあった授業を工夫実施しており、さらなる向上を目指して実践している。
改善方法に向けての意見	これまでの教育実践を継続しつつ、より地域等を巻き込む交流を計画的に連携・実践することが大切である。 校区内の各学校との連携と交流も大切である。	人とのコミュニケーション力を学校内外の生活の中で身に付ける様、引き続きご指導いただきたい。 先生方への信頼感は、教育活動を実践するうえで必要不可欠なものであると考えます。今後とも、揺るぐことなく継続して指導して行って欲しい。	自ら考え、議論をして自分の意見を述べられる生徒の育成にさらなる力を注いで欲しい。 学校内は落ち着いた環境であり、先生生徒及び保護者の意識調査の結果をみても改善の様子が見られる。 生徒一人ひとりの能力が発揮できる環境整備も大切で、学力はもちろんのこと生きる力を含めた総合的な学力の向上も大切であると考え

3 その他のご意見

<p>学校内での様々な課題もある中、一人ひとりの生徒を大切にすることを第一とし、不登校の生徒に対する取り組みもさらなる努力を傾けて欲しい。時には、保護者をはじめ学校関係者にも協力を仰ぐことで活力ある学校作りに取り組んで欲しい。</p> <p>学校内の環境整備(清掃等)は、生徒たちの心の内に大きな影響を与えます。保護者等の協力のもと、現状に満足することなく、さらなる向上に取り組んで欲しい。</p>
